

## 中項目 10. 性的思考、性自認等

## 「性の多様性」の指導の必要性について

令和元年度に人権同和教育課から配付されたLGBT等への配慮や支援にかかわる教職員向けリーフレットは、必要な情報がコンパクトにまとめられておりとても分かりやすい資料であると思います。このリーフレットを活用しての研修会が実施され、LGBT等への理解が深まることを期待しています。

しかしながら、昨今、LGBT等に係る内容が教科書に掲載されるようになった現状を考えると、学校において「性の多様性」の指導を系統的に行っていくことが急務であると考えます。ぜひ、県の施策の中に「実践事例の収集と情報提供」を加えていただきたいと考えます。

## ○教科書への掲載状況（日本経済新聞 2020. 3. 25 より）

## &lt;2019年採択&gt;

【小学校5・6年保健 ※ 義務教育で初めて記載】

「寄り添うことの大切さ」のページ（相談の仕方や相談の受け方を考えるコーナー）

「自分の生まれた性別と、心の性別が一致しないことで、不安やなやみをもっている人がいます」

【中学校道徳】5社6点

4つの性（心の性・体の性・好きになる性・表現する性）について等

## &lt;2020年採択&gt;

【中学校国語】

ゲイであることを公表した日本文学研究者ロバート・キャンベルさんの文章を掲載

【保健体育】

思春期の心身の発達を扱う章の冒頭

「『普通』『常識』『みんなも言っている』、そんな声を耳にしたら『そうじゃない人だっているかもしれない』という発想をみんなに持ってほしいと思います」

～LGBTも働きやすい職場づくりを支援する団体の代表の方のインタビューから～

【社会科（公民）】

共生社会を考えるページ

・同性カップルのホテルの宿泊拒否を違法とする国の見解を示し「多様な性の意識を持つ人々が、社会の中で自分らしく生きるための取り組みも必要」と記載

・性別に関係なく制服のスラックスをはけるようにした自治体の動きを掲載

【美術 2020年採択】

同性カップルが描かれた生徒製作のポスターを紹介

※2020年採択の中学校の教科書には、9社17点が掲載されている。

## ○実践事例のイメージ

### 【就学前】

- ① 保育環境を見直してみよう
  - ・言葉遣い ・男子トイレの使用 ・トイレのスリッパの色 ・好きな服装や遊び
- ② 絵本「わたしはあかねこ」の読み聞かせと話し合い

### 【小学校低学年】

- ① 「あなたの好きな色は？」
  - ・ 白いTシャツが書かれたワークシートに好きな色を塗り、交流する。
- ② 「家族の多様性について考える」
  - ・ 「シンデレラ」「王さまと王さま」「いろいろななかぞく」の本を読み、様々な形の家族があることを知る。

### 【小学校中学年】

- ① 「女らしさ男らしさ」
  - ・ 「～らしさ」について自分の考えを発表することにより、一人一人の違いを理解することの大切さに気付かせる。
- ② 「心とからだの性について考える」
  - ・ 4つの性があることを知る。
  - ・ 絵本「タンタンゴはパパふたり」のよみきかせにより、一人一人が違っていいことを知らせる。

### 【小学校高学年】

- ① 「心とからだについて考えよう」
  - ・ 4つの性とLGBTについて知り、人を傷つける言葉について考える。
- ② 「すべての人が『自分らしく』生きられる社会って」
  - ・ セクシュアルマイノリティの人々の差別の実態を知り、自分らしく生きられるための考えを交流する。

### 【中学校】

- ① 「性の多様性」について考えよう
    - ・ 4つの性とLGBTについて、ゲストティチャー（当事者や支援団体）の話聞き一人一人の違いを理解することの大切さについて考える。
- ※ 「性の多様性」の指導に関する教職員向け手引書（宝塚市教育委員会作成）より

## ○違和感をいつ頃から感じたきたか？

- 岡山大学ジェンダークリニック受診の性同一性障害者1,167人への聞き取り
- ・ 中学生になるまでに・・・約9割
  - ・ 小学生になるまでに・・・約7割
- ※ 『封じ込められた子ども、その心を聴く』中塚幹也著 フクロウ出版より